

「同一建物同一日の訪問診療等の適正化による影響調査」における報告書（案）の概要

(1) 調査の目的

平成26年度診療報酬改定において、在宅医療を担う医療機関の確保と質の高い在宅医療を推進するため、保険診療の運用上、不適切と考えられる事例への対策を進める観点から、訪問診療、歯科訪問診療、訪問看護及び在宅薬剤管理指導業務に対する評価について見直しを行った。

これらを踏まえ、在宅医療等の実施状況について調査を行った。

(2) 調査方法及び調査の概要

① 医科医療機関調査

- 全国の保険医療機関のうち無作為抽出した、1)在宅療養支援診療所 1,500 施設、2)在宅療養支援病院 500 施設、3)在宅時医学総合管理料または特定施設入居時等医学総合管理料の届出を行っている診療所（1）、2)は除く）500 施設の計 2,500 施設を調査対象とし、平成26年8月に調査票を配布。回答は郵送により回収。

② 訪問看護調査

- 全国の訪問看護事業所のうち無作為抽出した、機能強化型訪問看護管理療養費、訪問看護基本療養費Ⅱ、精神科訪問看護基本療養費Ⅲを算定している訪問看護ステーション 1,000 事業所及び、全国の保険医療機関のうち無作為抽出した、在宅患者訪問看護・指導料または精神科訪問看護・指導料を算定している病院 1,000 施設を対象とし、平成26年8月に調査票を配布。回答は郵送により回収。

③ 歯科医療機関調査

- 全国の歯科保険医療機関のうち無作為抽出した、在宅療養支援歯科診療所の届出を行っている歯科診療所 2,000 施設を調査対象とし、平成26年8月に調査票を配布。回答は郵送により回収。

④ 保険薬局調査

- 全国の保険薬局のうち無作為抽出した、在宅患者調剤加算の届出を行っている保険薬局 1,000 施設を対象とし、平成26年8月に調査票を配布。回答は郵送により回収。

⑤ 集合住宅調査

- 全国の施設等のうち無作為抽出した、1)サービス付き高齢者向け住宅 500 施設、2)有料老人ホーム 500 施設、3)養護老人ホーム・軽費老人ホーム 500 施設、4)認知症高齢者グループホーム 500 施設の計 2,000 施設を調査対象とし、平成26年8月に調査票を配布。回答は郵送により回収。

(3) 回収の状況

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| ① 医科保険医療機関 | 有効回答数： 755 施設（有効回答率 30.2%） |
| 日計票（1日調査） | 有効回答数：5,541 人 |
| 患者 | 有効回答数：1,569 人 |
| ② 訪問看護ステーション | 有効回答数： 920 事業所（有効回答率 46.0%） |

日計票（1日調査）	有効回答数：6,886人
利用者調査	有効回答数：1,708人
③ 歯科保険医療機関	有効回答数：1,106施設（有効回答率55.3%）
④ 保険薬局	有効回答数：601施設（有効回答率60.1%）
⑤ 集合住宅	有効回答数：792施設（有効回答率39.6%）

（4）検証部会としての評価

平成26年4月の診療報酬改定内容を踏まえ、在宅医療を担う保険医療機関等に対し同一建物における同一日の複数訪問の訪問診療等の実施状況及び集合住宅等における在宅医療の提供状況等について検証を行った。

＜本調査における同一建物の定義＞

<p>医科医療機関（日計表を除く）、看護調査（日計表を除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「同一建物」・・・同一建物内に、同じ医療機関等の訪問診療を受けた他の人がいる（※同一日かどうか問わない） ・「非同一建物」・・・同一建物内に、同じ医療機関の訪問診療を受けた他の人がいない（※同一日かどうか問わない） <p>歯科医療機関、薬局、医科医療機関（日計表）、看護調査（日計表）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「同一建物（同一建物で複数）」・・・同一日・同一建物内に、同じ医療機関等の訪問診療を受けた他の人がいる ・「同一建物以外（同一建物で一人）」・・・同一日・同一建物内に、同じ医療機関等の訪問診療を受けた他の人がいない

① 医科医療機関調査

改定前		改定後	
訪問診療料 1 (同一建物以外)	830 点	訪問診療料 1 (同一建物以外)	<u>833 点</u>
訪問診療料 2 (特定施設等)	400 点	訪問診療料 2 (特定施設等)	<u>203 点</u>
訪問診療料 2 (上記以外)	200 点	訪問診療料 2 (上記以外)	<u>103 点</u>

改定前		改定後	
【在宅時医学総合管理料】		【在宅時医学総合管理料】	
1 機能強化型在支診・病		1 機能強化型在支診・病	
イ 病床を有する場合		イ 病床を有する場合	
(1) 処方せん有	5,000 点	(1) 処方せん有 (同一以外)	5,000 点
(2) 処方せん無	5,300 点	(同一)	<u>1,200 点</u>
		(2) 処方せん無 (同一以外)	5,300 点
		(同一)	<u>1,500 点</u>
□ 病床を有しない場合		□ 病床を有しない場合	
(1) 処方せん有	4,600 点	(1) 処方せん有 (同一以外)	4,600 点
(2) 処方せん無	4,900 点	(同一)	<u>1,100 点</u>
		(2) 処方せん無 (同一以外)	4,900 点
		(同一)	<u>1,400 点</u>
2 在支診・病		2 在支診・病	
イ 処方せん有	4,200 点	イ 処方せん有 (同一以外)	4,200 点
□ 処方せん無	4,500 点	(同一)	<u>1,000 点</u>
		□ 処方せん無 (同一以外)	4,500 点
		(同一)	<u>1,300 点</u>
3 それ以外		3 それ以外	
イ 処方せん有	2,200 点	イ 処方せん有 (同一以外)	<u>3,150 点</u>
□ 処方せん無	2,500 点	(同一)	<u>760 点</u>
		□ 処方せん無 (同一以外)	<u>3,450 点</u>
		(同一)	<u>1,060 点</u>

- 訪問診療を行った居宅・施設数についてみると、診療所では、「1 人しか訪問診療の対象患者がいない居宅・居住施設」が平成 26 年 3 月では平均 12.6 か所、7 月では平均 13.3 か所とやや増加した。一方、「2 人以上訪問診療の対象患者を抱えている特定施設又は特別養護老人ホーム」「2 人以上訪問診療の対象患者を抱えているその他の居住施設」については、平成 26 年 3 月と 7 月とで大きな変化はみられなかった。

また、病院では、「1 人しか訪問診療の対象患者がいない居宅・居住施設」が平成 26 年 3 月では平均 17.3 か所、7 月では平均 18.2 か所とやや増加した。一方、「2 人以上訪問診療の対象患者を抱えている特定施設又は特別養護老人ホーム」「2 人以上訪問診療の対象患者を抱えているその他の居住施設」については、平成 26 年 3 月と 7 月とで大きな変化はみられなかった。

P33 図表 32 訪問診療を行った居宅・施設数【診療所】(n=559)

(単位：か所)

	平成 26 年 3 月			平成 26 年 7 月			
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	
1) 1 人しか訪問診療の対象患者がいない居宅・居住施設	12.6	25.7	3.0	13.3	27.3	4.0	*
2) 2 人以上訪問診療の対象患者を抱えている特定施設又は特別養護老人ホーム	0.5	1.2	0.0	0.5	1.2	0.0	
3) 2 人以上訪問診療の対象患者を抱えているその他の居住施設	1.4	4.3	0.0	1.5	5.0	0.0	
合計	14.5	27.7	5.0	15.2	29.4	5.0	*

(注)・平成 26 年 3 月及び平成 26 年 7 月の各 1 か月間に訪問診療を行った居宅・施設数。

- ・平成 26 年 3 月及び平成 26 年 7 月の 1 か月間に訪問した「居宅・施設数」、「患者数」、「在総管・特医総管を算定した患者数」について記載のあった 559 施設を集計対象とした。
- ・***p<.001 **p<.01 *p<.05

P33 図表 33 訪問診療を行った居宅・施設数【病院】(n=146)

(単位：か所)

	平成 26 年 3 月			平成 26 年 7 月			
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	
1) 1 人しか訪問診療の対象患者がいない居宅・居住施設	17.3	30.8	6.5	18.2	31.2	7.0	*
2) 2 人以上訪問診療の対象患者を抱えている特定施設又は特別養護老人ホーム	0.7	1.6	0.0	0.8	1.6	0.0	
3) 2 人以上訪問診療の対象患者を抱えているその他の居住施設	1.5	3.2	0.0	1.4	2.4	0.0	
合計	19.4	31.9	9.0	20.4	32.5	9.0	*

(注)・平成 26 年 3 月及び平成 26 年 7 月の各 1 か月間に訪問診療を行った居宅・施設数。

- ・平成 26 年 3 月及び平成 26 年 7 月の 1 か月間に訪問した「居宅・施設数」、「患者数」、「在総管・特医総管を算定した患者数」について記載のあった 146 施設を集計対象とした。
- ・***p<.001 **p<.01 *p<.05

- 訪問診療を実施した患者数についてみると、診療所では、「1 人しか訪問診療の対象患者がいない居宅・居住施設」の患者数が平成 26 年 3 月では平均 12.6 人、7 月では平均 13.3 人とやや増加した。一方、「2 人以上訪問診療の対象患者を抱えている特定施設又は特別養護老人ホーム」「2 人以上訪問診療の対象患者を抱えているその他の居住施設」については、平成 26 年 3 月と 7 月とで大きな変化はみられなかった。

また、病院では、「1 人しか訪問診療の対象患者がいない居宅・居住施設」が平成 26 年 3 月では平均 17.3 人、7 月では平均 18.2 人とやや増加した。「2 人以上訪問診療の対象患者を抱えている特定施設又は特別養護老人ホーム」「2 人以上訪問診療の対象患者を抱えているその他の居住施設」については、平成 26 年 3 月と 7 月とで大きな変化はみられなかった。

P36 図表 35 訪問診療を実施した患者数【診療所】(n=559)

(単位：人)

	平成 26 年 3 月			平成 26 年 7 月			
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	
1) 1 人しか訪問診療の対象患者がいない居宅・居住施設	12.6	25.7	3.0	13.3	27.3	4.0	*
2) 2 人以上訪問診療の対象患者を抱えている特定施設又は特別養護老人ホーム	10.3	36.9	0.0	10.4	39.4	0.0	
3) 2 人以上訪問診療の対象患者を抱えているその他の居住施設	13.3	42.7	0.0	13.1	42.6	0.0	
合計	36.2	73.6	11.0	36.9	75.1	12.0	

(注)・平成 26 年 3 月及び平成 26 年 7 月の各 1 か月間に訪問診療を行った患者数。

・平成 26 年 3 月及び平成 26 年 7 月の 1 か月間に訪問した「居宅・施設数」、「患者数」、「在総管・特医総管を算定した患者数」について記載のあった 559 施設を集計対象とした。

・*** p<.001 ** p<.01 * p<.05

P36 図表 36 訪問診療を実施した患者数【病院】(n=146)

(単位：人)

	平成 26 年 3 月			平成 26 年 7 月			
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	
1) 1 人しか訪問診療の対象患者がいない居宅・居住施設	17.3	30.8	6.5	18.2	31.2	7.0	*
2) 2 人以上訪問診療の対象患者を抱えている特定施設又は特別養護老人ホーム	13.8	56.0	0.0	16.2	60.0	0.0	*
3) 2 人以上訪問診療の対象患者を抱えているその他の居住施設	10.5	18.9	0.0	12.7	22.7	0.0	**
合計	41.6	66.2	25.0	47.1	71.2	27.5	**

(注)・平成 26 年 3 月及び平成 26 年 7 月の各 1 か月間に訪問診療を行った患者数。

・平成 26 年 3 月及び平成 26 年 7 月の 1 か月間に訪問した「居宅・施設数」、「患者数」、「在総管・特医総管を算定した患者数」について記載のあった 146 施設を集計対象とした。

・*** p<.001 ** p<.01 * p<.05

- 訪問診療を実施した患者数について訪問診療の施設類型別にみると、「訪問件数が少ない医療機関」では、訪問診療を行った患者数の合計は、平成26年3月が平均2.5人（標準偏差2.7、中央値2.0）、7月が平均3.7人（標準偏差8.3、中央値2.0）であった。このうち「1人の対象患者の居宅・居住施設」が多く、2人以上の対象患者がいる施設は少なかった。次に「同一建物の訪問件数が多い医療機関」では、訪問診療を行った患者数の合計は、平成26年3月が平均81.9人（標準偏差109.8、中央値47.0）、7月が平均84.8人（標準偏差114.73、中央値48.5）であり、やや増加している。このうち「1人の対象患者の居宅・居住施設」「2人以上の対象患者のいる特定施設等」の患者数が増加している。最後に「同一建物以外の訪問件数が多い医療機関」では、訪問診療を行った患者数の合計は、平成26年3月が平均49.6人（標準偏差59.5、中央値29.0）、7月が平均50.9人（標準偏差59.6、中央値31.0）であり、やや増加している。このうち「1人の対象患者の居宅・居住施設」の患者数が増加している。

P37 図表 37 訪問診療を実施した患者数（訪問診療の施設類型別）

（単位：人）

		平成26年3月			平成26年7月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
訪問件数が少ない 医療機関	1) 1人の対象患者の居宅・居住施設	2.0	2.3	1.0	2.3	2.9	1.0
	2) 2人以上の対象患者のいる特定施設等	0.1	0.7	0.0	0.8	5.2	0.0
	3) 2人以上の対象患者のいるその他の居住施設	0.4	1.4	0.0	0.7	3.7	0.0
	4) 合計	2.5	2.7	2.0	3.7	8.3	2.0
同一建物の訪問件数が多い 医療機関	1) 1人の対象患者の居宅・居住施設	6.6	14.9	1.5	7.7	18.2	2.0
	2) 2人以上の対象患者のいる特定施設等	38.3	76.2	11.0	39.2	82.1	13.0
	3) 2人以上の対象患者のいるその他の居住施設	37.0	67.1	18.0	37.8	68.5	16.0
	4) 合計	81.9	109.8	47.0	84.8	114.7	48.5
同一建物以外の訪問件数が多い 医療機関	1) 1人の対象患者の居宅・居住施設	34.6	37.8	23.0	35.7	39.2	23.0
	2) 2人以上の対象患者のいる特定施設等	4.5	9.8	0.0	4.8	10.0	0.0
	3) 2人以上の対象患者のいるその他の居住施設	10.5	24.1	2.0	10.4	21.6	2.0
	4) 合計	49.6	59.5	29.0	50.9	59.6	31.0

（注）訪問診療の施設類型の定義は以下の通りである。

- ・「訪問件数が少ない医療機関」：平成26年3月1か月間に訪問診療を行った患者数が10人未満の医療機関（n=304）
- ・「同一建物の訪問件数が多い医療機関」：平成26年3月1か月間に訪問診療を行った患者数が10人以上で、かつ同一建物の割合が70%を超えている医療機関（n=176）
- ・「同一建物以外の訪問件数が多い医療機関」：平成26年3月1か月間に訪問診療を行った患者数が10人以上で、かつ同一建物の割合が70%以下の医療機関（n=225）

○ 施設への訪問回数についてみると、診療所では、「1 人しか訪問診療の対象患者がいない居宅・居住施設」で平成 26 年 3 月が平均 22.7 回、7 月が平均 29.4 回と増加した。また、「2 人以上訪問診療の対象患者を抱えている特定施設又は特別養護老人ホーム」で平成 26 年 3 月が平均 2.5 回、7 月が平均 3.9 回であった。さらに、「2 人以上訪問診療の対象患者を抱えているその他の居住施設」で平成 26 年 3 月が平均 4.5 回、7 月が平均 7.4 回であった。いずれも増加しており、合計回数でみると、平成 26 年 3 月が平均 29.7 回、7 月が平均 40.7 回と増加している。

また、病院では、「1 人しか訪問診療の対象患者がいない居宅・居住施設」で平成 26 年 3 月が平均 27.7 回、7 月が平均 35.1 回と増加した。また、「2 人以上訪問診療の対象患者を抱えている特定施設又は特別養護老人ホーム」で平成 26 年 3 月が平均 6.0 回、7 月が平均 8.7 回であった。さらに、「2 人以上訪問診療の対象患者を抱えているその他の居住施設」で平成 26 年 3 月が平均 4.6 回、7 月が平均 7.5 回であった。いずれも増加しており、合計回数でみると、平成 26 年 3 月が平均 38.3 回、7 月が平均 51.3 回と増加している。

P40 図表 40 居宅・施設への訪問回数【診療所】(n=545)

(単位：回)

	平成 26 年 3 月			平成 26 年 7 月			
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	
1) 1 人しか訪問診療の対象患者がいない居宅・居住施設	22.7	51.7	4.0	29.4	63.0	8.0	***
2) 2 人以上訪問診療の対象患者を抱えている特定施設又は特別養護老人ホーム	2.5	9.2	0.0	3.9	14.7	0.0	**
3) 2 人以上訪問診療の対象患者を抱えているその他の居住施設	4.5	12.6	0.0	7.4	22.5	0.0	***
合計	29.7	58.4	9.0	40.7	77.7	13.0	***

(注)・平成 26 年 3 月及び平成 26 年 7 月の各 1 か月間に訪問診療を行った患者の居宅・施設への訪問回数。ここでの訪問回数とは、施設単位での訪問回数であり、同一日に複数の患者を一度訪問診療した場合、「1 回」と数えている。
 ・平成 26 年 3 月及び平成 26 年 7 月について記載のあった 545 施設を集計対象とした。
 ・***p<.001 **p<.01 *p<.05

P40 図表 41 居宅・施設への訪問回数【病院】(n=143)

(単位：回)

	平成 26 年 3 月			平成 26 年 7 月			
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	
1) 1 人しか訪問診療の対象患者がいない居宅・居住施設	27.7	84.4	6.0	35.1	88.1	10.0	**
2) 2 人以上訪問診療の対象患者を抱えている特定施設又は特別養護老人ホーム	6.0	50.0	0.0	8.7	55.2	0.0	*
3) 2 人以上訪問診療の対象患者を抱えているその他の居住施設	4.6	10.9	0.0	7.5	19.7	0.0	*
合計	38.3	100.9	11.0	51.3	115.2	21.0	***

(注)・平成 26 年 3 月及び平成 26 年 7 月の各 1 か月間に訪問診療を行った患者の居宅・施設への訪問回数。ここでの訪問回数とは、施設単位での訪問回数であり、同一日に複数の患者を一度訪問診療した場合、「1 回」と数えている。
 ・平成 26 年 3 月及び平成 26 年 7 月について記載のあった 143 施設を集計対象とした。
 ・***p<.001 **p<.01 *p<.05

○ 施設への訪問回数について訪問診療の施設類型別にみると、「訪問件数が少ない医療機関」では、居宅・施設への訪問回数の合計は、平成26年3月が平均4.5回（標準偏差5.6、中央値2.0）、7月が平均6.7回（標準偏差12.4、中央値3.0）と増加した。いずれの施設でも訪問回数は増加している。次に「同一建物の訪問件数が多い医療機関」では、訪問診療を行った訪問回数の合計は、平成26年3月が平均31.9回（標準偏差63.6、中央値13.0）、7月が平均48.0回（標準偏差87.2、中央値22.0）と増加した。いずれの施設でも訪問回数は増加している。最後に「同一建物以外の訪問件数が多い医療機関」では、訪問診療を行った訪問回数の合計は、平成26年3月が平均67.9回（標準偏差98.1、中央値36.0）、7月が平均88.2回（標準偏差116.1、中央値53.0）であり、増加している。いずれの施設でも訪問回数は増加している。

P41 図表 42 居宅・施設への訪問回数（訪問診療の施設類型別）

（単位：回）

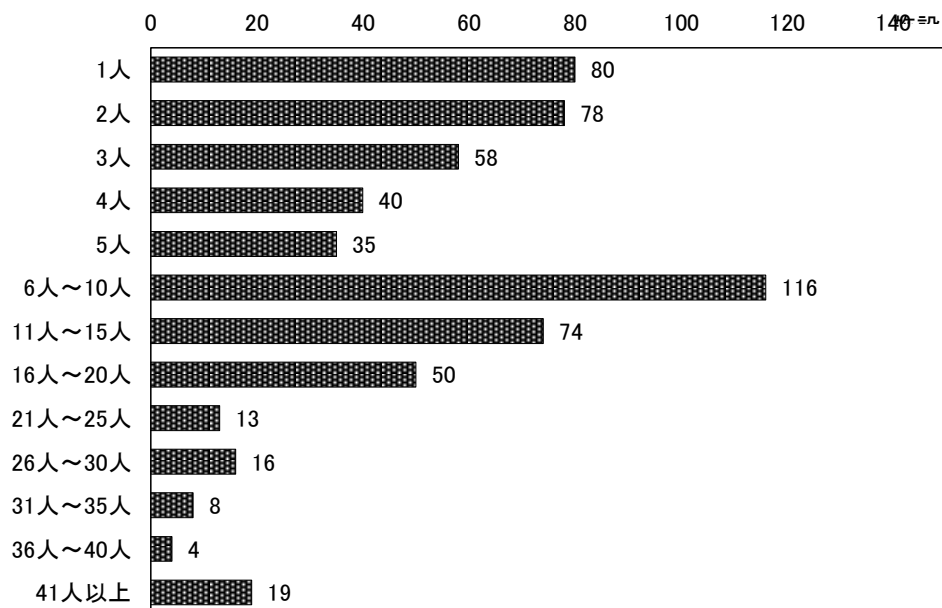
		平成26年3月			平成26年7月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
訪問件数が少ない 医療機関	1) 1人の対象患者の居宅・居住施設	3.9	5.4	2.0	5.0	7.3	2.0
	2) 2人以上の対象患者のいる特定施設等	0.2	1.2	0.0	1.0	8.5	0.0
	3) 2人以上の対象患者のいるその他の居住施設	0.3	1.2	0.0	0.7	3.1	0.0
	4) 合計	4.5	5.6	2.0	6.7	12.4	3.0
同一建物の訪問件数が多い 医療機関	1) 1人の対象患者の居宅・居住施設	10.6	31.0	1.0	15.9	40.2	4.0
	2) 2人以上の対象患者のいる特定施設等	10.8	47.6	3.0	14.6	53.8	4.0
	3) 2人以上の対象患者のいるその他の居住施設	10.5	19.9	4.0	17.4	35.5	4.0
	4) 合計	31.9	63.6	13.0	48.0	87.2	22.0
同一建物以外の訪問件数が多い 医療機関	1) 1人の対象患者の居宅・居住施設	60.8	92.1	32.0	77.4	101.3	45.0
	2) 2人以上の対象患者のいる特定施設等	1.6	3.2	0.0	2.5	6.3	0.0
	3) 2人以上の対象患者のいるその他の居住施設	5.5	10.5	2.0	8.3	18.9	2.0
	4) 合計	67.9	98.1	36.0	88.2	116.1	53.0

（注）訪問診療の施設類型の定義は以下の通りである。

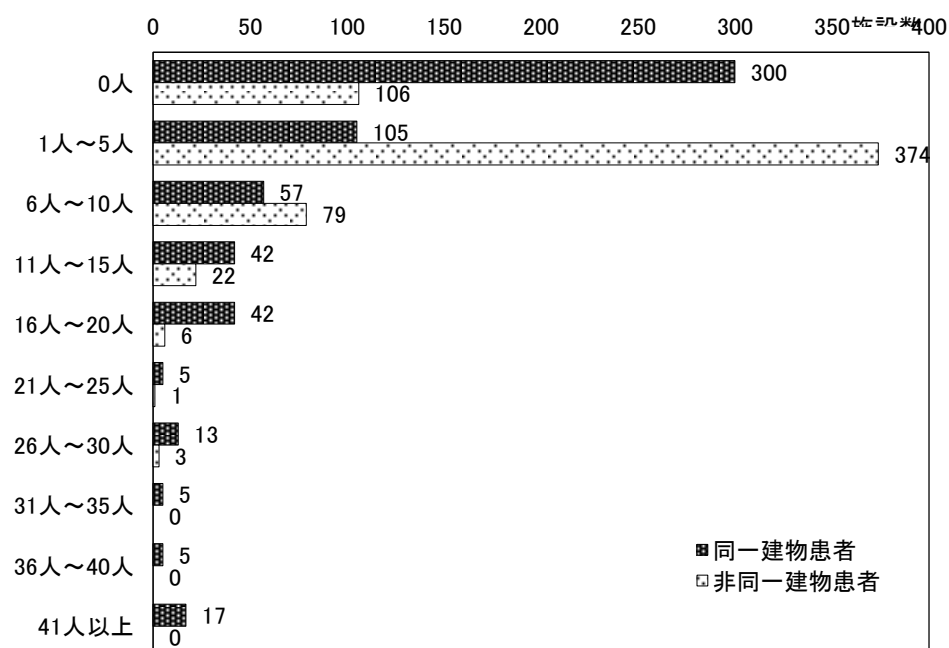
- ・「訪問件数が少ない医療機関」：平成26年3月1か月間に訪問診療を行った患者数が10人未満の医療機関（n=297）
- ・「同一建物の訪問件数が多い医療機関」：平成26年3月1か月間に訪問診療を行った患者数が10人以上で、かつ同一建物の割合が70%を超えている医療機関（n=172）
- ・「同一建物以外の訪問件数が多い医療機関」：平成26年3月1か月間に訪問診療を行った患者数が10人以上で、かつ同一建物の割合が70%以下の医療機関（n=219）

- 調査対象となった医師 1 名の 1 日の訪問診療患者数別医療機関数は、「6 人～10 人」が 116 施設で最も多く、次いで「1 人」が 80 施設、「2 人」が 78 施設、「11 人～15 人」が 74 施設、「3 人」が 58 施設であった。このうち同一建物患者が「0 人」という施設が 300 施設で最も多く、次いで「1 人～5 人」が 105 施設であった。一方、非同一建物患者は「1 人～5 人」が 374 施設で最も多く、次いで「0 人」が 106 施設であった。

P45 図表 47 調査対象となった医師 1 名の 1 日の訪問診療患者数別 医療機関数(医療機関数ベース、n=591)

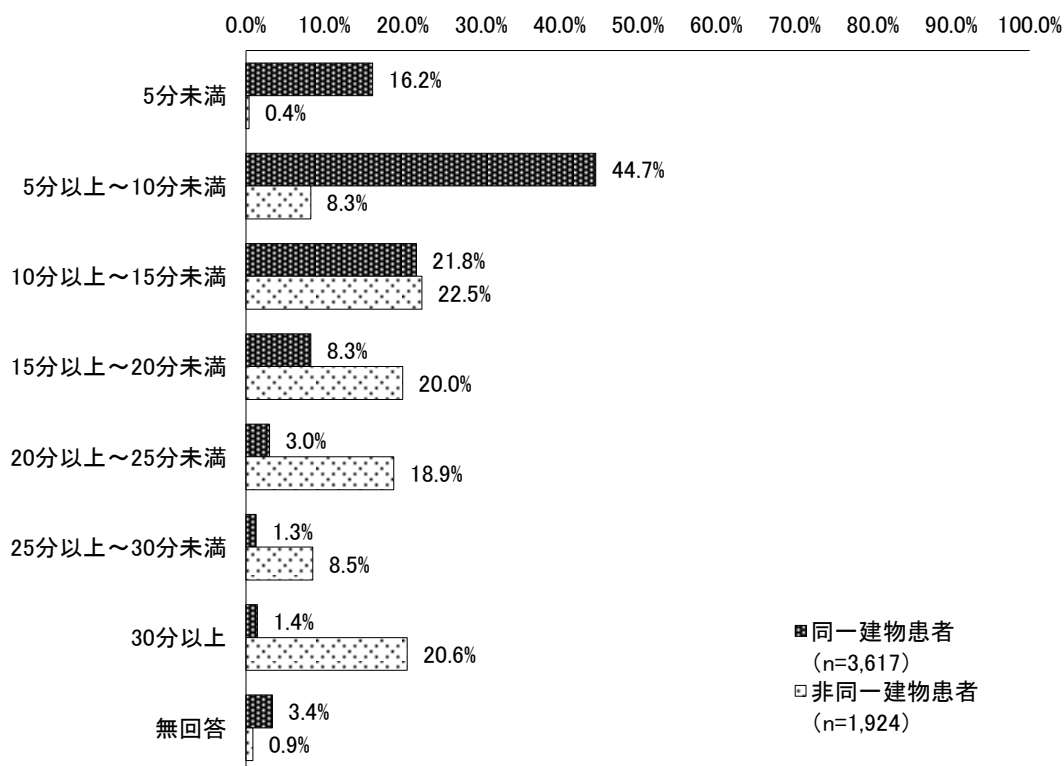


P46 図表 48 調査対象となった医師 1 名の 1 日の訪問診療患者数別 (同一・非同一建物別) 医療機関数 (医療機関数ベース、n=591)



- 患者 1 人あたりの訪問診療時の診療時間についてみると、同一建物患者は「5 分以上～10 分未満」が 44.7%で最も多く、次いで「10 分以上～15 分未満」が 21.8%、「5 分未満」が 16.2%であった。一方、非同一建物患者は「10 分以上～15 分未満」が 22.5%で最も多く、次いで「30 分以上」が 20.6%、「15 分以上～20 分未満」が 20.0%、「20 分以上～25 分未満」が 18.9%であった。

P47 図表 49 患者1人あたりの訪問診療時の診療時間（患者数ベース）



(注) 訪問診療時の診療時間には、患者等での滞在時間の他、滞在時間以外にカルテの記録や処方せんの発行、介護職員との事前の打ち合わせ（情報共有の時間）などの時間も含まれる。

- 患者 1 人あたりの訪問診療時の診療時間は、平均 13.7 分であり、このうち同一建物患者は平均 9.2 分、非同一建物患者は平均 21.9 分であった。

P48 図表 50 患者1人あたりの訪問診療時の診療時間（患者数ベース）

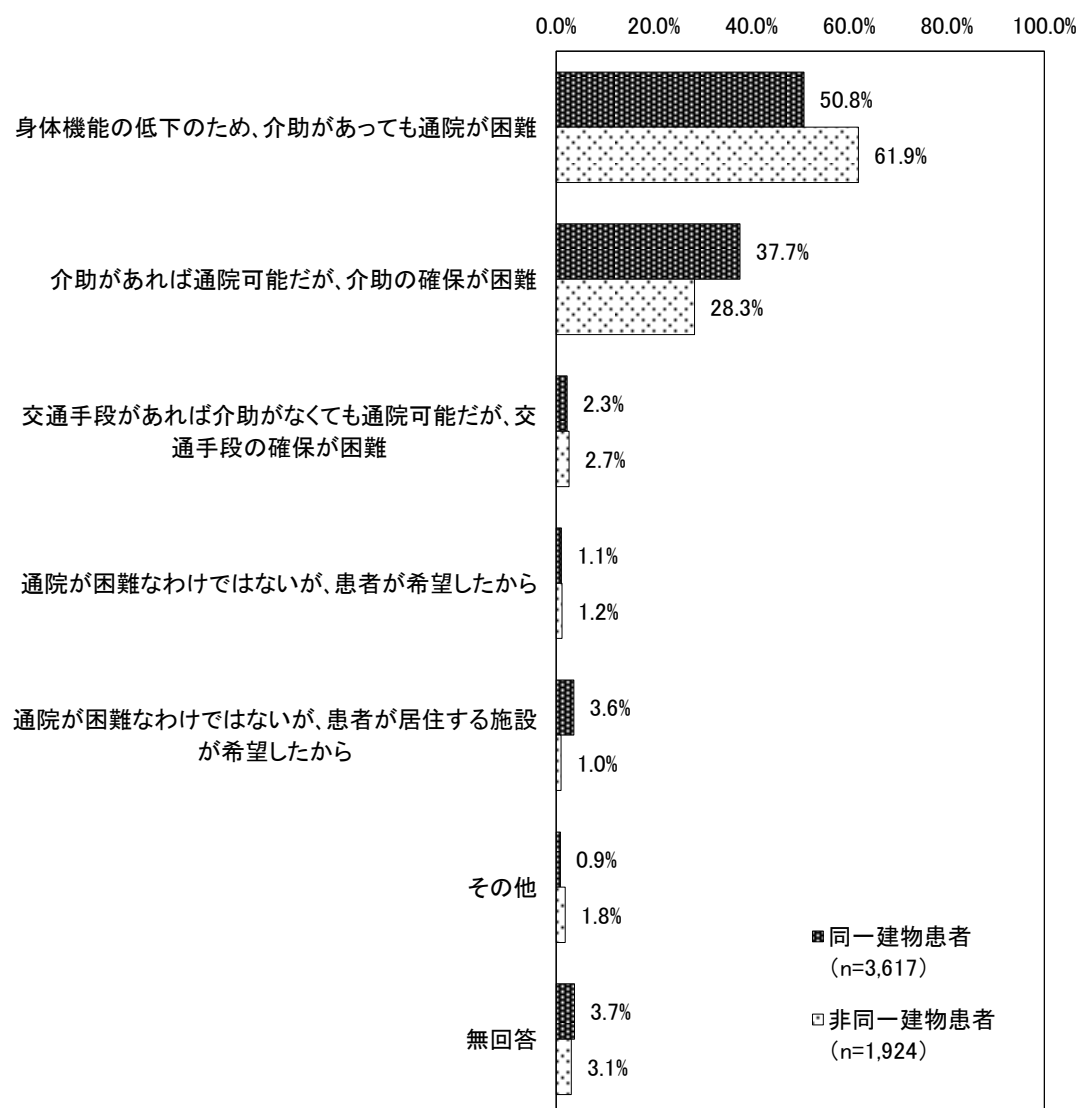
(単位：分)

	人数 (人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	5,402	13.7	12.5	10.0
同一建物患者	3,495	9.2	6.4	7.5
非同一建物患者	1,907	21.9	16.2	19.0

(注) 訪問診療時の診療時間には、患者等での滞在時間の他、滞在時間以外にカルテの記録や処方せんの発行、介護職員との事前の打ち合わせ（情報共有の時間）などの時間も含まれる。

- 訪問診療を行っている理由についてみると、同一建物患者は「身体機能の低下のため、介助があっても通院が困難」が50.8%で最も多く、次いで「介助があれば通院可能だが、介助の確保が困難」が37.7%であった。また、非同一建物患者も「身体機能の低下のため、介助があっても通院が困難」が61.9%で最も多く、次いで「介助があれば通院可能だが、介助の確保が困難」が28.3%であった。

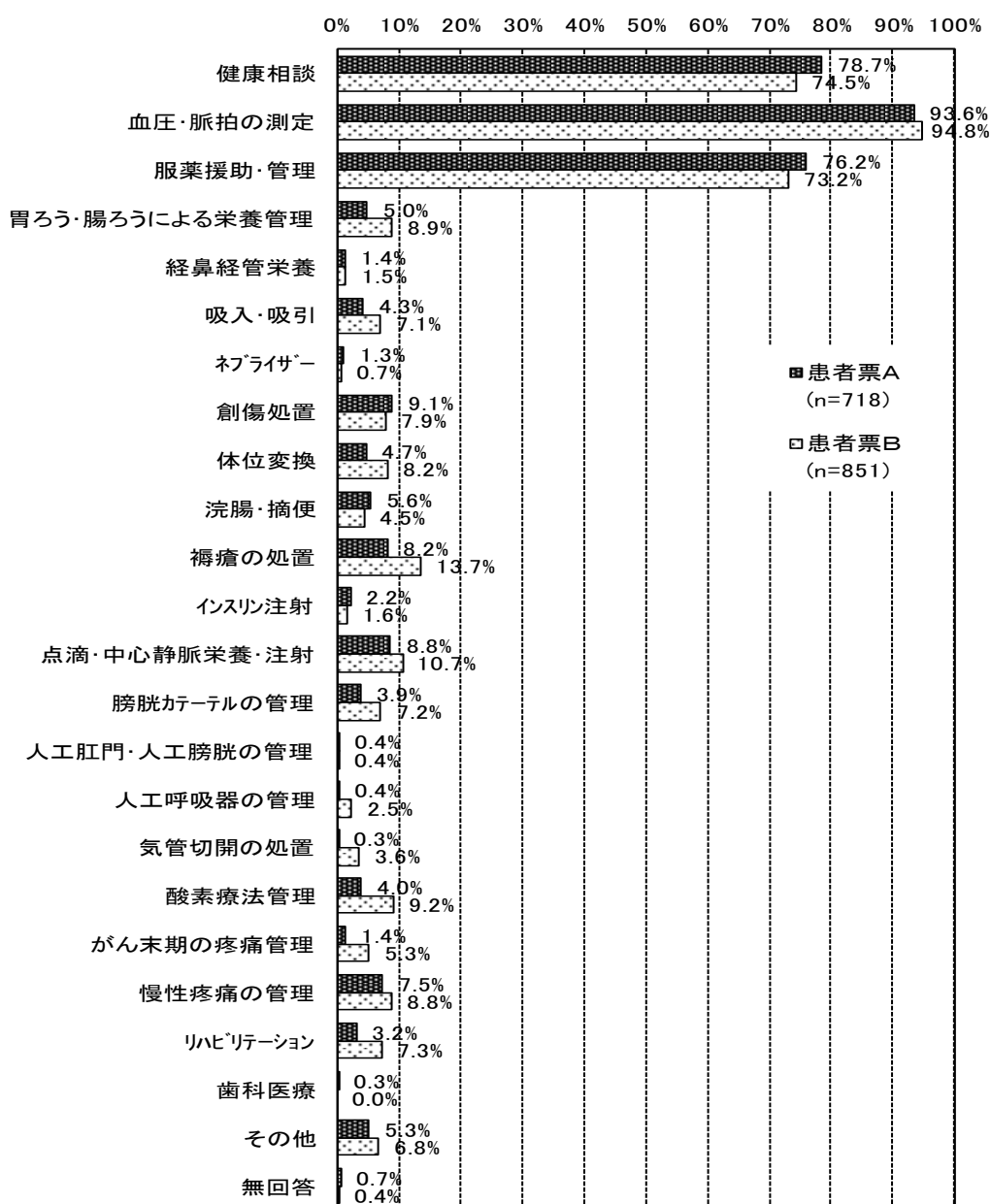
P51 図表 54 訪問診療を行っている理由（患者数ベース、単数回答）



- 自施設が提供している医療内容についてみると、患者票 A では「血圧・脈拍の測定」が 93.6%で最も多く、次いで「健康相談」が 78.7%、「服薬援助・管理」が 76.2%であった。また、患者票 B でも「血圧・脈拍の測定」が 94.8%で最も多く、次いで「健康相談」が 74.5%、「服薬援助・管理」が 73.2%であった。患者票 B では患者票 A と比較して、「褥瘡の処置」が 5.5 ポイント、「酸素療法管理」が 5.2 ポイント、「リハビリテーション」が 4.1 ポイント、「胃ろう・腸ろうによる栄養管理」「がん末期の疼痛管理」がそれぞれ 3.9 ポイント、「膀胱カテーテルの管理」が 3.8 ポイント、「体位変換」が 3.5 ポイント、「気管切開の処置」が 3.3 ポイント高かった。

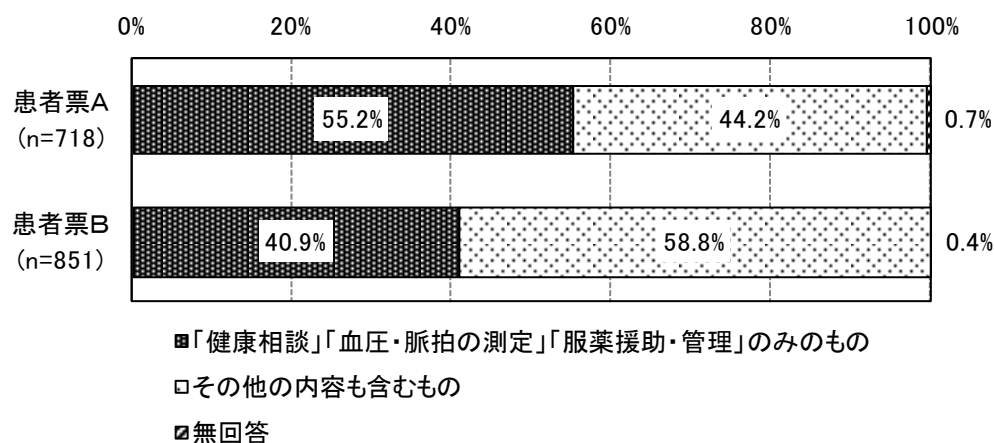
患者票A・・・一つの居住施設（同一建物）内に、同一施設の訪問診療を利用している患者が他にいる患者を対象
 患者票B・・・一つの居住施設（同一建物）内に、同一施設の訪問診療を利用している患者が他にいない患者を対象

P61 図表 64 自施設が提供している医療内容（複数回答）



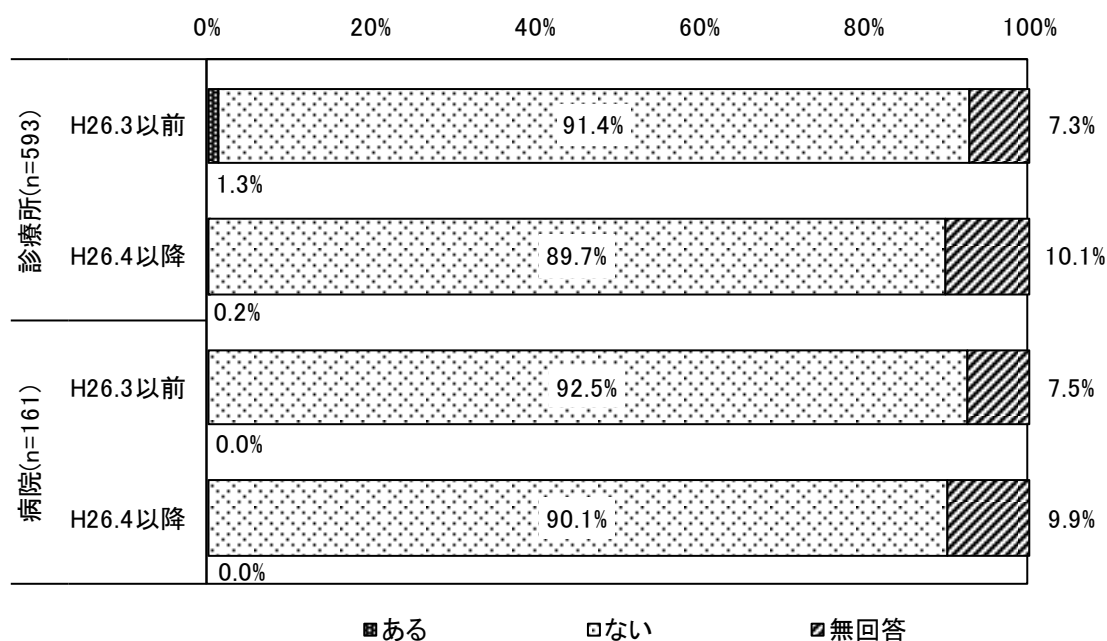
- 患者票 A では「健康相談」「血圧・脈拍の測定」「服薬援助・管理」のみのものが55.2%、その他の内容も含むものが44.2%であり、患者票 B では「健康相談」「血圧・脈拍の測定」「服薬援助・管理」のみのものが40.9%、その他の内容も含むものが58.8%であった。

P62 図表 65 提供している医療内容



- 患者紹介の契約の有無についてみると、診療所では、平成 26 年 3 月以前は「ある」が 1.3%であったのが平成 26 年 4 月以降は 0.2%となった。また、病院では平成 26 年 3 月以前、平成 26 年 4 月以降ともに「ある」が 0.0%であった。

P84 図表 84 患者紹介の契約の有無



(ご参考)

<医科>

	H26.3以前		H26.4以降	
	施設数	割合	施設数	割合
① 無回答件数	54	7.4%	76	10.0%
② ①のうち訪問診療患者数「0」人	24		29	
③ ①-②	30	4.0%	47	6.2%

【無回答施設(③)の主な回答状況】

主な診療科	H26.3以前		H26.4以降		(参考)調査 全体のデータ (H26.4以降)
	施設数	割合	施設数	割合	
内科	19	63.3%	33	70.2%	65.3%
外科	1	3.3%	3	6.4%	8.2%
脳神経外科	0	0.0%	1	2.1%	1.9%
小児科	0	0.0%	1	2.1%	0.4%
呼吸器科	1	3.3%	1	2.1%	0.9%
消化器科	2	6.7%	1	2.1%	2.1%
耳鼻咽喉科	1	3.3%	1	2.1%	0.1%
その他	6	20.0%	6	12.8%	10.8%

種別	H26.3以前		H26.4以降		(参考)調査 全体のデータ (H26.4以降)
	施設数	割合	施設数	割合	
病院	9	30.0%	14	29.8%	21.3%
有床診療所	3	10.0%	5	10.6%	8.7%
無床診療所	18	60.0%	28	59.6%	69.8%

在支診・在支病かどうか	H26.3以前		H26.4以降		(参考)調査 全体のデータ (H26.4以降)
	施設数	割合	施設数	割合	
在支診・在支病ではない	6	20.0%	7	14.9%	16.7%
機能強化した 在支診・在支病(単独型)	3	10.0%	4	8.5%	12.7%
機能強化した 在支診・在支病(連携型)	7	23.3%	11	23.4%	28.6%
上記以外の 在支診・在支病	10	33.3%	22	46.8%	39.8%

1か月あたりの訪問施設数	H26.3以前		H26.4以降		(参考)調査 全体のデータ (H26.4以降)
	施設数	割合	施設数	割合	
1人の居住施設	259	91.2%	651	92.6%	87.5%
2人以上の特定施設	10	3.5%	15	2.1%	3.4%
2人以上の居住施設	15	5.3%	37	5.3%	9.0%

1か月あたりの訪問回数	H26.3以前		H26.4以降		(参考)調査 全体のデータ (H26.4以降)
	回数	割合	回数	割合	
1人の居住施設	283	84.0%	1,653	87.5%	71.3%
2人以上の特定施設数	31	9.2%	74	3.9%	11.4%
2人以上の居住施設数	23	6.8%	163	8.6%	17.3%

1か月あたりの訪問患者数	H26.3以前		H26.4以降		(参考)調査 全体のデータ (H26.4以降)
	人数	割合	人数	割合	
1人の居住施設	259	46.3%	651	48.5%	36.8%
2人以上の特定施設数	202	36.1%	297	22.1%	29.8%
2人以上の居住施設数	98	17.5%	395	29.4%	33.4%

② 訪問看護調査

＜医療機関の場合＞

改定前		改定後	
【同一建物居住者訪問看護・指導料】		【在宅同一建物居住者訪問看護・指導料】	
1 保健師、助産師又は看護師等 (同一日に2人以上)		1 保健師、助産師又は看護師等	
		イ 同一日に2人	
イ 週3日目まで	430点	(1) 週3日目まで	<u>555点</u>
ロ 週4日目以降	530点	(2) 週4日目以降	<u>655点</u>
		ロ 同一日に3人以上	
		(1) 週3日目まで	<u>278点</u>
		(2) 週4日目以降	<u>328点</u>
2 准看護師 (同一日に2人以上)		2 准看護師	
		イ 同一日に2人	
イ 週3日目まで	380点	(1) 週3日目まで	<u>505点</u>
ロ 週4日目以降	480点	(2) 週4日目以降	<u>605点</u>
		ロ 同一日に3人以上	
		(1) 週3日目まで	<u>253点</u>
		(2) 週4日目以降	<u>303点</u>
【精神科訪問看護・指導料Ⅲ】		【精神科訪問看護・指導料Ⅲ】	
1 保健師又は看護師等 (同一日に2人以上)		1 保健師又は看護師等	
		イ 同一日に2人	
イ 週3日目まで30分以上	445点	(1) 週3日目まで30分以上	<u>575点</u>
ロ 週3日目まで30分未満	340点	(2) 週3日目まで30分未満	<u>440点</u>
ハ 週4日目以降30分以上	545点	(3) 週4日目以降30分以上	<u>675点</u>
ニ 週4日目以降30分未満	415点	(4) 週4日目以降30分未満	<u>525点</u>
		ロ 同一日に3人以上	
		(1) 週3日目まで30分以上	<u>288点</u>
		(2) 週3日目まで30分未満	<u>220点</u>
		(3) 週4日目以降30分以上	<u>338点</u>
		(4) 週4日目以降30分未満	<u>263点</u>
2 准看護師 (同一日に2人以上)		2 准看護師	
		イ 同一日に2人	
イ 週3日目まで30分以上	395点	(1) 週3日目まで30分以上	<u>525点</u>
ロ 週3日目まで30分未満	300点	(2) 週3日目まで30分未満	<u>400点</u>
ハ 週4日目以降30分以上	495点	(3) 週4日目以降30分以上	<u>625点</u>
ニ 週4日目以降30分未満	375点	(4) 週4日目以降30分未満	<u>485点</u>

	<input type="checkbox"/> 同一日に3人以上 <u>(1) 週3日目まで30分以上</u> 263点 <u>(2) 週3日目まで30分未満</u> 200点 <u>(3) 週4日目以降30分以上</u> 313点 <u>(4) 週4日目以降30分未満</u> 243点
--	---

<訪問看護ステーションの場合>

現行	改定後
【訪問看護基本療養費Ⅱ】 1 保健師、助産師又は看護師等 (同一日に2人以上) イ 週3日目まで 4,300円 □ 週4日目以降 5,300円 2 准看護師 (同一日に2人以上) イ 週3日目まで 3,800円 □ 週4日目以降 4,800円 【精神科訪問看護基本療養費Ⅲ】 1 保健師又は看護師等 (同一日に2人以上) イ 週3日目まで30分以上 4,300円 □ 週3日目まで30分未満 3,300円 ハ 週4日目以降30分以上 5,300円 ニ 週4日目以降30分未満 4,060円	【訪問看護基本療養費Ⅱ】 1 保健師、助産師又は看護師等 イ 同一日に2人 (1) 週3日目まで 5,550円 (2) 週4日目以降 6,550円 □ 同一日に3人以上 (1) 週3日目まで 2,780円 (2) 週4日目以降 3,280円 2 准看護師 イ 同一日に2人 (1) 週3日目まで 5,050円 (2) 週4日目以降 6,050円 □ 同一日に3人以上 (1) 週3日目まで 2,530円 (2) 週4日目以降 3,030円 【精神科訪問看護基本療養費Ⅲ】 1 保健師又は看護師等 イ 同一日に2人 (1) 週3日目まで30分以上 5,550円 (2) 週3日目まで30分未満 4,250円 (3) 週4日目以降30分以上 6,550円 (4) 週4日目以降30分未満 5,100円 □ 同一日に3人以上 (1) 週3日目まで30分以上 2,780円 (2) 週3日目まで30分未満 2,130円 (3) 週4日目以降30分以上 3,280円 (4) 週4日目以降30分未満 2,550円

<p>2 准看護師 (同一日に2人以上)</p> <p>イ 週3日目まで30分以上 3,800円</p> <p>ロ 週3日目まで30分未満 2,910円</p> <p>ハ 週4日目以降30分以上 4,800円</p> <p>ニ 週4日目以降30分未満 3,670円</p>	<p>2 准看護師</p> <p><u>イ 同一日に2人</u></p> <p>(1) 週3日目まで30分以上 <u>5,050円</u></p> <p>(2) 週3日目まで30分未満 <u>3,870円</u></p> <p>(3) 週4日目以降30分以上 <u>6,050円</u></p> <p>(4) 週4日目以降30分未満 <u>4,720円</u></p> <p><u>ロ 同一日に3人以上</u></p> <p>(1) 週3日目まで30分以上 <u>2,530円</u></p> <p>(2) 週3日目まで30分未満 <u>1,940円</u></p> <p>(3) 週4日目以降30分以上 <u>3,030円</u></p> <p>(4) 週4日目以降30分未満 <u>2,360円</u></p>
--	---

- 訪問看護ステーションにおける訪問看護の利用者数についてみると、利用者数（医療保険と介護保険の合計）は、平成26年3月が平均74.4人、7月は平均78.4人であった。また、利用者のうち医療保険の利用者数は、平成26年3月が平均21.4人、7月が平均22.9人であった。このうち、医療保険と介護保険の両方を使用した利用者数は、平成26年3月が平均1.2人、7月が平均1.4人であった。

医療保険の訪問看護利用者のうち、「医療保険の利用者数」は平成26年3月が平均21.4人、7月が平均22.9人であった。また、「別表7に該当」は平成26年3月が平均11.1人、7月が平均11.7人であり、「別表8に該当」は平成26年3月が平均6.9人、7月が平均7.2人であった。

P105 図表 102 訪問看護の利用者数（実人数）【訪問看護ステーション】

(単位：人)

	事業所数 (件)	平成26年3月			平成26年7月		
		平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値
①利用者数(医療保険と介護保険の合計)	511	74.4	57.9	59.0	78.4	59.2	62.0
②①のうち、医療保険の利用者数	508	21.4	24.0	15.0	22.9	24.7	16.0
③②のうち、医療保険と介護保険の両方を使用した利用者数	495	1.2	2.7	0.0	1.4	2.7	1.0

(注) それぞれ、平成26年3月及び平成26年7月の利用者数について回答のあった事業所を集計対象とした。

- 保険医療機関における訪問看護の利用者数についてみると、利用者数（医療保険と介護保険の合計）は、平成26年3月が平均47.5人、7月は平均49.4人であった。また、利用者のうち医療保険の利用者数は、平成26年3月が平均27.5人、7月が平均28.7人であった。このうち、医療保険と介護保険の両方を使用した利用者数は、平成26年3月が平均0.6人、7月が平均0.7人であった。

医療保険の訪問看護利用者のうち、「医療保険の利用者数」は平成26年3月が平均27.3人、7月が平均28.2人であった。また、「別表7に該当」は平成26年3月が平均3.2人、7月が平均3.5人であり、「別表8に該当」は平成26年3月が平均2.0人、7月が平均2.2人であった。

P107 図表 104 訪問看護の利用者数（実人数）【保険医療機関】

（単位：人）

	施設数 (件)	平成26年3月			平成26年7月		
		平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値
① 利用者数（医療保険と介護保険の合計）	358	47.5	45.4	35.5	49.4	46.4	37.0
② ①のうち、医療保険の利用者数	362	27.5	35.8	14.0	28.7	37.2	14.5
③ ②のうち、医療保険と介護保険の両方を使用した利用者数	335	0.6	2.7	0.0	0.7	2.9	0.0

（注）それぞれ、平成26年3月及び平成26年7月の利用者数について記載のあった施設を集計対象とした。

- 訪問看護ステーションにおける訪問回数についてみると、医療保険と介護保険を合計した訪問回数は、平成26年3月が平均488.7回、7月が平均544.4回と大きく増加した。また、このうち医療保険の訪問回数は、平成26年3月が平均175.5回、同年7月が平均199.2回であった。

P109 図表 106 訪問回数（延べ回数）【訪問看護ステーション】

（単位：回）

	事業所数 (件)	平成26年3月			平成26年7月		
		平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値
① 訪問回数（医療保険と介護保険の合計）	507	488.7	587.0	374.0	544.4	577.1	415.0
② ①のうち、医療保険の訪問回数	505	175.5	197.0	123.0	199.2	215.9	144.0

（注）それぞれ、平成26年3月及び平成26年7月の訪問回数について記載のあった事業所を集計対象とした。

- 保険医療機関における訪問回数についてみると、医療保険と介護保険を合計した訪問回数は、平成26年3月が平均201.3回、7月が平均225.5回であった。また、このうち医療保険の訪問回数は、平成26年3月が平均94.0回、7月が平均105.4回であった。

P109 図表 107 訪問回数（延べ回数）【保険医療機関】

(単位：回)

	施設数 (件)	平成26年3月			平成26年7月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
① 訪問回数（医療保険と介護保険の合計）	352	201.3	442.5	120.5	225.5	523.5	134.0
② ①のうち、医療保険の訪問回数	356	94.0	116.2	58.0	105.4	135.0	69.0

(注) それぞれ、平成26年3月及び平成26年7月の訪問回数について記載のあった施設を集計対象とした。

- 訪問看護ステーションが訪問看護を行っている、同一建物内に複数の利用者がある施設数（「0」を除いた集計）についてみると、「戸建住宅」は平成26年3月が平均9.0か所、7月が平均8.5か所であった。「マンション・アパート・団地等」は平成26年3月が平均2.9か所、7月が平均2.9か所、「サービス付き高齢者向け住宅」は平成26年3月が平均1.4か所、7月が平均1.2か所、「有料老人ホーム」は平成26年3月が平均1.7か所、7月が平均1.5か所、「養護老人ホーム・軽費老人ホーム」は平成26年3月が平均1.3か所、7月が平均1.0か所、「認知症高齢者グループホーム」は平成26年3月が平均1.2か所、7月が平均1.1か所、「小規模多機能、複合型サービス」は平成26年3月が平均1.4か所、7月が平均1.3か所であった。全体的に大きな変化は見られなかった。

P114 図表 112 同一建物内に複数の利用者がある施設数【訪問看護ステーション】
(n=374)

(単位：か所)

	平成26年3月			平成26年7月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
戸建住宅	1.54	5.61	0.00	1.61	5.74	0.00
マンション・アパート・団地等	0.37	1.45	0.00	0.44	1.57	0.00
サービス付き高齢者向け住宅	0.06	0.33	0.00	0.08	0.35	0.00
有料老人ホーム	0.13	0.66	0.00	0.13	0.63	0.00
養護老人ホーム・軽費老人ホーム	0.02	0.18	0.00	0.01	0.12	0.00
特別養護老人ホーム	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
認知症高齢者グループホーム	0.05	0.25	0.00	0.05	0.25	0.00
小規模多機能、複合型サービス	0.02	0.19	0.00	0.02	0.20	0.00
その他	0.04	0.25	0.00	0.06	0.33	0.00

(注) 平成26年3月及び平成26年7月の各施設数と施設ごとの合計利用者数について記載のあった374事業所を集計対象とした。

- 訪問看護ステーションにおける、訪問看護利用者 1 人あたりの訪問時間についてみると、非同一建物利用者は平均 60.3 分、同一建物利用者では平均 50.6 分であり、同一建物利用者では非同一建物利用者よりも 10 分程度短かった。特に「精神」（精神科訪問看護を利用した）の利用者では、非同一建物利用者が平均 51.0 分であるのに対し、同一建物利用者が平均 29.4 分と差が大きかった。

同様に、保険医療機関についてみると、非同一建物利用者は平均 45.4 分、同一建物利用者は平均 35.7 分であり、同一建物利用者では非同一建物利用者よりも 10 分程度短かった。「精神以外」の利用者では非同一建物利用者が平均 54.7 分、同一建物利用者が平均 43.9 分であり、10 分程度の差があった。

P134 図表 135 利用者 1 人あたり訪問時間【訪問看護ステーションの利用者】

(単位：分)

	利用者数 (人)	平均値	標準偏差	中央値
非同一建物利用者	3,818	60.3	21.2	60.0
精神以外	3,406	61.5	21.2	60.0
精神	407	51.0	19.2	60.0
不明	5	58.0	4.5	60.0
同一建物利用者	391	50.6	30.4	45.0
精神以外	307	56.5	31.2	60.0
精神	84	29.4	13.4	30.0
不明	0	-	-	-

(注) 「精神」とは、精神科訪問看護を利用した利用者

P134 図表 136 利用者 1 人あたり訪問時間【保険医療機関の利用者】

(単位：分)

	利用者数 (人)	平均値	標準偏差	中央値
非同一建物利用者	1,870	45.4	18.6	40.0
精神以外	725	54.7	19.3	60.0
精神	1,092	39.5	15.5	35.0
無回答	53	40.3	13.5	35.0
同一建物利用者	357	35.7	19.7	31.0
精神以外	35	43.9	16.0	35.0
精神	296	33.2	14.5	30.0
無回答	26	53.7	47.1	38.0

(注) 「精神」とは、精神科訪問看護を利用した利用者

③ 歯科医療機関調査

<歯科訪問診療料の評価体系>

改定前				改定後		
		同一の建物に居住する患者数		同一の建物に居住する患者数		
		1人	2人以上	1人	2人以上 9人以下	10人以上
患者一人につき診療に要した時間	20分以上	歯科訪問診療料1	歯科訪問診療料2	歯科訪問診療料1	歯科訪問診療料2	歯科訪問診療料3
	20分未満	歯科初・再診料	歯科初・再診料			

改定前		改定後	
1 歯科訪問診療料1	850点	1 歯科訪問診療料1	866点
2 歯科訪問診療料2	380点	2 歯科訪問診療料2	283点
		3 歯科訪問診療料3	143点

○ 歯科訪問診療患者総数（延べ患者数）についてみると、平成26年3月は平均43.5人であり、平成26年7月は平均47.6人であり、やや増加した。このうち、「同一建物で1人の患者に歯科訪問診療を実施した患者総数」は平成26年3月が平均10.8人で、平成26年7月が平均12.5人であった。「同一建物で複数の患者に歯科訪問診療を実施した患者総数」は平成26年3月が平均32.7人、平成26年7月が平均35.1人であった。いずれも患者総数が増加した。

P162 図表 170 歯科訪問診療患者総数 (n=1,010)

(単位：人)

	平成26年3月			平成26年7月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科訪問診療患者総数	43.5	122.5	6.0	47.6	136.0	6.0
(うち)同一建物で1人の患者に歯科訪問診療を実施した患者総数	10.8	32.5	2.0	12.5	37.5	2.0
(うち)同一建物で複数の患者に歯科訪問診療を実施した患者総数	32.7	104.3	0.0	35.1	115.9	0.0

(注)・平成26年3月及び平成26年7月の各患者総数について記載のあった1,010施設を集計対象とした。

・「歯科訪問診療患者総数」には歯科訪問診療料を算定できない場合も含まれる。

- 歯科訪問診療を行った日数についてみると、平成 26 年 3 月が平均 8.7 日であり、平成 26 年 7 月が平均 9.3 日であった。

歯科訪問診療の施設類型別にみると、「訪問件数が少ない医療機関」では平成 26 年 3 月が平均 1.4 日、平成 26 年 7 月が平均 1.8 日であった。また、「同一建物の訪問件数が多い医療機関」では平成 26 年 3 月が平均 15.4 日、平成 26 年 7 月が平均 16.2 日であった。「同一建物以外の訪問件数が多い医療機関」では平成 26 年 3 月が平均 12.1 日、平成 26 年 7 月が平均 12.6 日であった。

P166 図表 174 歯科訪問診療を行った日数 (n=1,031)

(単位：日)

	平均値	標準偏差	中央値
平成 26 年 3 月	8.7	17.3	4.0
平成 26 年 7 月	9.3	17.6	5.0

(注) 平成 26 年 3 月及び平成 26 年 7 月の歯科訪問診療を行った日数について記載のあった 1,031 施設を集計対象とした。

P166 図表 175 歯科訪問診療を行った日数 (歯科訪問診療の施設類型別)

(単位：日)

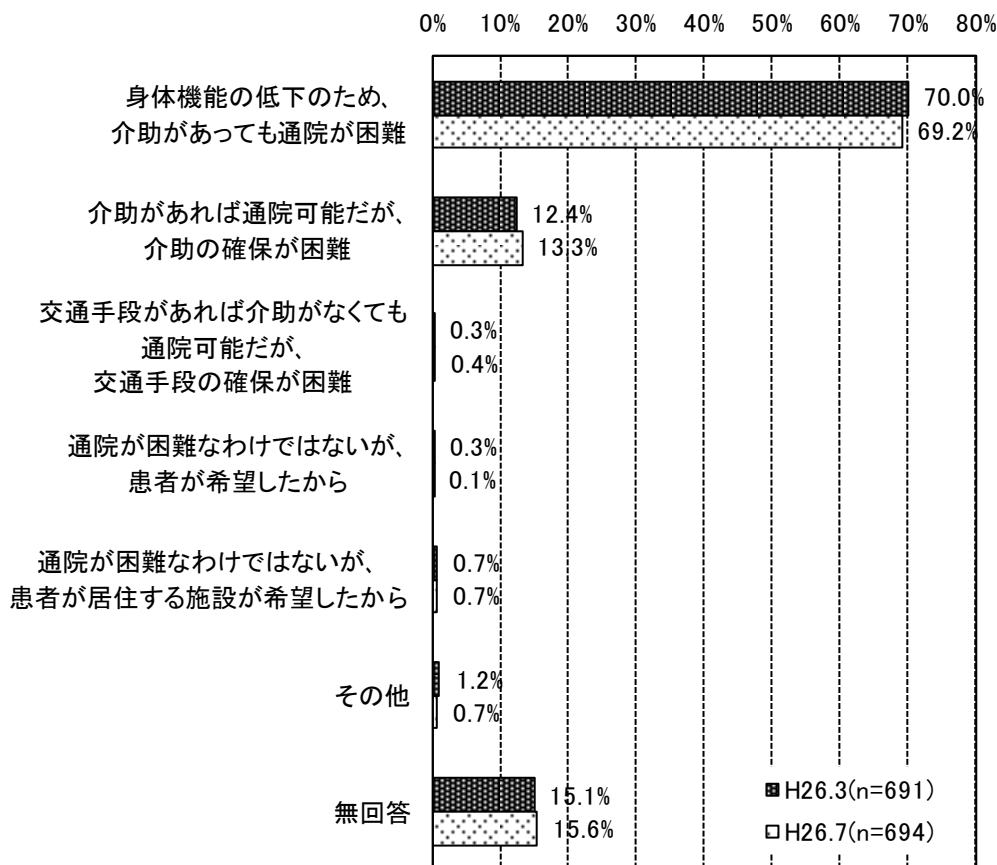
	平成 26 年 3 月			平成 26 年 7 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
訪問件数が少ない医療機関	1.4	2.6	0.0	1.8	3.3	0.0
同一建物の訪問件数が多い医療機関	15.4	24.0	12.0	16.2	24.2	13.0
同一建物以外の訪問件数が多い医療機関	12.1	7.1	10.0	12.6	7.6	11.0

(注) 歯科訪問診療の施設類型の定義は以下の通りである。

- ・「訪問件数が少ない歯科医療機関」：平成 26 年 3 月 1 か月間の歯科訪問診療患者総数が 5 人未満の歯科医療機関
- ・「同一建物の訪問件数が多い歯科医療機関」：平成 26 年 3 月 1 か月間の歯科訪問診療患者総数が 5 人以上で、歯科訪問診療患者総数に占める同一建物で 1 人の患者に対して歯科訪問診療を実施した患者数の割合が 80%未満の歯科医療機関
- ・「同一建物以外の訪問件数が多い歯科医療機関」：平成 26 年 3 月 1 か月間の歯科訪問診療患者総数が 5 人以上で、歯科訪問診療患者総数に占める同一建物で 1 人の患者に対して歯科訪問診療を実施した患者数の割合が 80%以上の歯科医療機関

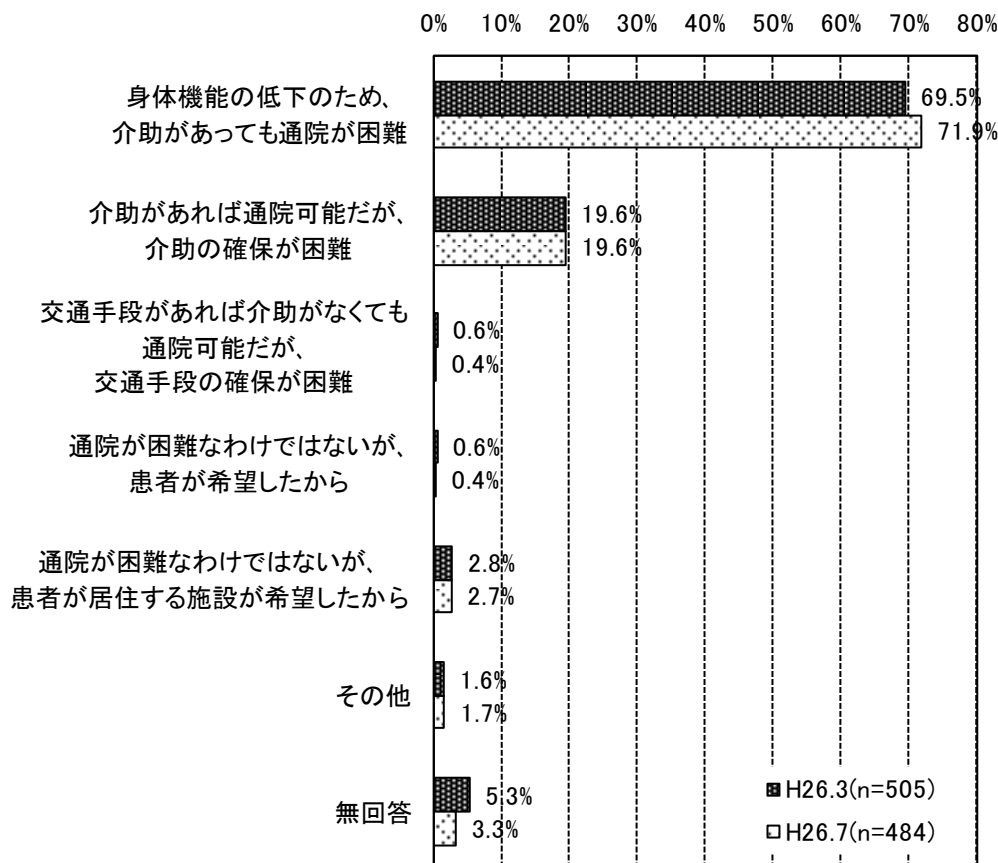
○ 歯科訪問診療を行っている理由についてみると、同一建物で1人の患者に対して歯科訪問診療を実施した場合、「身体機能の低下のため、介助があっても通院が困難」が平成26年3月は70.0%、同年7月は69.2%で最も多く、次いで「介助があれば通院可能だが、介助の確保が困難」が平成26年3月は12.4%、同年7月は13.3%であった。

P169 図表 178 歯科訪問診療を行っている理由
 ～同一建物で1人の患者に対して歯科訪問診療を実施した場合～



- 同一建物で複数の患者に対して歯科訪問診療を実施した場合、「身体機能の低下のため、介助があっても通院が困難」が平成26年3月は69.5%、同年7月は71.9%で最も多く、次いで「介助があれば通院可能だが、介助の確保が困難」が平成26年3月、同年7月ともに19.6%であった。

P170 図表 179 歯科訪問診療を行っている理由
 ～同一建物で複数の患者に対して歯科訪問診療を実施した場合～



- 歯科訪問診療料の算定回数についてみると、「歯科訪問診療料 1」は平成 26 年 3 月が平均 12.3 回（標準偏差 55.9、中央値 1.0）、平成 26 年 7 月は平均 14.1 回（標準偏差 61.9、中央値 1.0）であり、「歯科訪問診療料 2」は平成 26 年 3 月が平均 33.9 回（標準偏差 119.0、中央値 0.0）、平成 26 年 7 月は平均 20.7 回（標準偏差 62.5、中央値 0.0）であった。平成 26 年 7 月の「歯科訪問診療料 3」は平均 23.7 回（標準偏差 131.4、中央値 0.0）であった。また、平成 26 年 3 月の「初診料・再診料（20 分未満の歯科訪問診療）」は平均 10.6 回（標準偏差 72.4、中央値 0.0）であった。

P172 図表 181 診療報酬算定回数 (n=736)

(単位：回)

	平成 26 年 3 月			平成 26 年 7 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科訪問診療料 1	12.3	55.9	1.0	14.1	61.9	1.0
歯科訪問診療料 2	33.9	119.0	0.0	20.7	62.5	0.0
歯科訪問診療料 3				23.7	131.4	0.0
初診料・再診料 (20 分未満の歯科訪問診療)	10.6	72.4	0.0			

(注)・自宅「戸建て、マンション、アパート等」に対する歯科訪問診療を除く。
 ・平成 26 年 3 月及び平成 26 年 7 月について記載のあった 736 施設を集計対象とした。

- 1 日の歯科訪問診療時の 1 施設内の患者数についてみると、「介護保険施設」が平均 6.03 人（標準偏差 9.84、中央値 3.00）で最も多く、次いで「歯科標榜なし病院」が平均 5.25 人（標準偏差 13.69、中央値 2.00）、「有料老人ホーム、グループホーム系の居宅系高齢者施設」が平均 4.92 人（標準偏差 6.42、中央値 3.00）、「サービス付き高齢者向け住宅」が平均 3.68 人（標準偏差 3.80、中央値 2.00）であった。

P178 図表 191 1 日の歯科訪問診療時の 1 施設内の患者数

(単位：人)

	施設数 (件)	平均値	標準偏差	中央値
サービス付き高齢者向け住宅	74	3.68	3.80	2.00
有料老人ホーム、グループホーム系の居宅系高齢者施設	221	4.92	6.42	3.00
介護保険施設	282	6.03	9.84	3.00
歯科標榜なし病院	171	5.25	13.69	2.00
その他	38	6.79	10.57	2.00

(注) 同じ施設類型の中で複数の施設を訪問している場合は、患者数が最も多かった施設における当該日の患者数を記載していた。

- 患者1人あたりの平均診療時間についてみると、「歯科標榜なし病院」では平均28.20分（標準偏差12.65、中央値25.00）と最も長く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅」が平均27.74分（標準偏差15.03、中央値25.00）、「介護保険施設」が平均26.29分（標準偏差10.80、中央値25.00）、「有料老人ホーム、グループホーム系の居宅系高齢者施設」が平均26.28分（標準偏差10.15、中央値24.00）であった。

P179 図表 193 患者1人あたりの平均診療時間

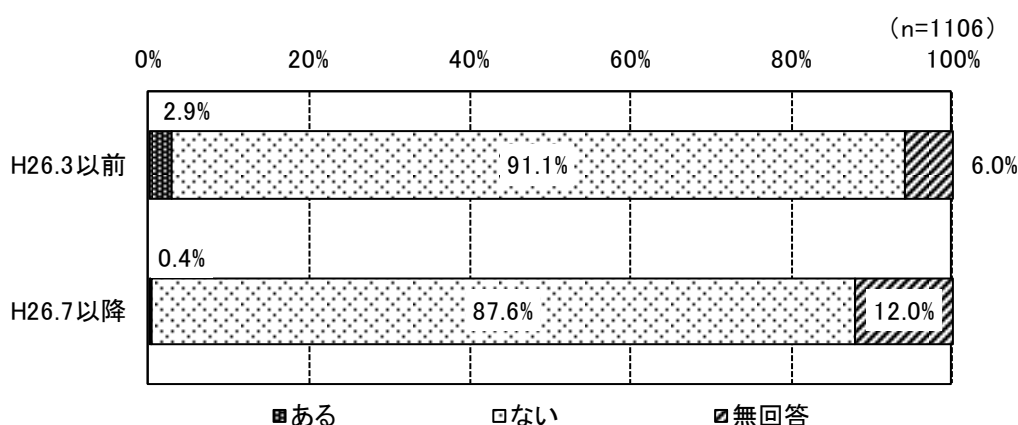
(単位：分)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
サービス付き高齢者向け住宅	82	27.74	15.03	25.00
有料老人ホーム、グループホーム系の居宅系高齢者施設	282	26.28	10.15	24.00
介護保険施設	351	26.29	10.80	25.00
歯科標榜なし病院	192	28.20	12.65	25.00
その他	42	26.57	10.07	22.50

(注) 歯科訪問診療の診療時間には、診療前の準備、診療後の片付けや移動に要した時間、訪問歯科衛生指導に係る時間は含まれない。

- 患者紹介の契約の有無についてみると、平成26年3月以前は「ある」が2.9%、「ない」が91.1%であった。また、平成26年4月以降は「ある」が0.4%、「ない」が87.6%であった。

P188 図表 203 患者紹介の契約の有無



(ご参考)

< 歯科 >

	H26.3以前		H26.4以降	
	施設数	割合	施設数	割合
① 無回答件数	66	6.0%	133	12.0%
② ①のうち訪問診療患者数「0」人	49		47	
③ 残(①-②)	17	1.5%	73	6.6%

【無回答施設(③)の主な回答状況】

標榜診療科(複数回答)	H26.3以前		H26.4以降		(参考)調査 全体のデータ (H26.4以降)
	施設数	割合	施設数	割合	
矯正歯科	6	35.3%	29	39.7%	31.7%
小児歯科	9	52.9%	41	56.2%	55.6%
歯科口腔外科	7	41.2%	27	37.0%	29.1%

診療内容(複数回答)	H26.3以前		H26.4以降		(参考)調査 全体のデータ (H26.4以降)
	施設数	割合	施設数	割合	
一般外来歯科診療	17	100.0%	71	97.3%	98.3%
歯科訪問診療	17	100.0%	73	100.0%	94.7%
診療困難患者への歯科診療	1	5.9%	12	16.4%	30.3%
その他(摂食機能療法、障害者等)	0	0.0%	0	0.0%	1.4%

1か月あたりの訪問患者数	H26.3以前		H26.4以降		(参考)調査 全体のデータ (H26.4以降)
	人数	割合	人数	割合	
同一建物で1人	87	8.5%	849	27.2%	26.3%
同一建物で複数	938	91.5%	2,270	72.8%	73.7%

1か月あたりの訪問施設数	H26.3以前		H26.4以降		(参考)調査 全体のデータ (H26.4以降)
	施設数	割合	施設数	割合	
同一建物で複数(マンション・アパート・団地等)	0	0.0%	4	3.4%	11.7%
同一建物で複数(サービス付き高齢者向け住宅)	1	3.4%	8	6.9%	8.0%
同一建物で複数(居宅系高齢者施設)	22	75.9%	68	58.6%	49.1%
同一建物で複数(介護保険施設)	6	20.7%	36	31.0%	31.3%

④ 保険薬局調査

改定前			改定後		
【在宅患者訪問薬剤管理指導料】			【在宅患者訪問薬剤管理指導料】		
1	同一建物居住者以外	500点	1	同一建物居住者以外	650点
2	同一建物居住者	350点	2	同一建物居住者	300点
			保険薬剤師1人につき、1日に5回に限り算定可能		

- 在宅で薬学的管理及び指導を行った総患者数（医療保険＋介護保険）についてみると、平成26年3月は総患者数が平均31.4人であり、このうち医療保険の患者数は平均2.4人、介護保険の患者数は平均29.0人であった。平成26年7月は総患者数が平均31.7人であり、このうち医療保険の患者数は平均2.3人、介護保険の患者数は平均29.4人であった。

P208 図表 232 在宅で薬学的管理及び指導を行った総患者数 (n=564)

(単位：人)

	平成26年3月			平成26年7月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
総患者数	31.4	68.2	8.0	31.7	66.3	9.0
(うち) 医療保険の患者数	2.4	7.7	0.0	2.3	7.2	0.0
(うち) 介護保険の患者数	29.0	65.9	8.0	29.4	64.1	8.0

(注)・「総患者数」は算定の有無にかかわらず、在宅で薬学的管理及び指導を行ったすべての患者数である。
 ・平成26年3月及び平成26年7月についてすべて記載のあった564施設を集計対象とした。

- 患者1人あたり平均ベッドサイド業務の時間は、同一建物以外では平成26年3月が平均20.7分であり、同年7月が平均20.8分であった。同一建物では平成26年3月が平均16.7分であり、同年7月が平均17.2分であった。

P210 図表 235 患者1人あたり平均ベッドサイド業務の時間(医療保険＋介護保険)

(単位：分)

	平成26年3月				平成26年7月			
	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
同一建物以外	357	20.7	13.4	15.0	364	20.8	13.7	16.0
同一建物	287	16.7	20.4	10.0	289	17.2	24.3	10.0

- 在宅患者訪問薬剤管理指導料算定患者における訪問場所別施設数についてみると、同一建物以外では「自宅」は平成26年3月が平均3.5か所（標準偏差6.1、中央値2.0）、同年7月が平均3.4か所（標準偏差5.7、中央値1.0）と最も多かった。次いで「居宅系高齢者施設」は平成26年3月が平均1.2か所（標準偏差0.4、中央値1.0）、同年7月が平均1.1か所（標準偏差0.3、中央値1.0）であった。同一建物では、「居宅系高齢者施設」は平成26年3月が平均2.5か所（標準偏差5.2、中央値1.0）、同年7月が平均2.2か所（標準偏差4.5、中央値1.0）と最も多かった。次いで「自宅」は平成26年3月が平均2.0か所（標準偏差3.1、中央値1.0）、同年7月が平均2.4か所（標準偏差3.4、中央値1.0）であった。

P215 図表 242 訪問場所別施設数（医療保険、「0」を除く）

（単位：か所）

	平成26年3月				平成26年7月			
	施設数 (件)	平均値	標準 偏差	中央値	施設数 (件)	平均値	標準 偏差	中央値
【同一建物以外】								
自宅	171	3.5	6.1	2.0	182	3.4	5.7	1.0
特別養護老人ホーム	2	1.0	0.0	1.0	1	1.0	-	1.0
居宅系高齢者施設	11	1.2	0.4	1.0	11	1.1	0.3	1.0
その他	2	1.0	0.0	1.0	2	1.0	0.0	1.0
【同一建物】								
自宅	19	2.0	3.1	1.0	17	2.4	3.4	1.0
特別養護老人ホーム	2	1.0	0.0	1.0	2	1.0	0.0	1.0
居宅系高齢者施設	35	2.5	5.2	1.0	36	2.2	4.5	1.0
その他	5	1.0	0.0	1.0	5	1.0	0.0	1.0

(注)・「自宅」とは戸建て、マンション・アパート・団地等である。

・「居宅系高齢者施設」とはサービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム等の居宅系高齢者施設。

⑤ 集合住宅調査

- 訪問診療・往診を行っている病院・診療所数についてみると、「有料老人ホーム」が平成26年3月に平均1.6か所、同年6月に平均1.8か所で最も多く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅」が平成26年3月に平均1.4か所、同年6月に平均1.7か所、「養護老人ホーム」が平成26年3月に平均1.3か所、同年6月に平均1.5か所であった。

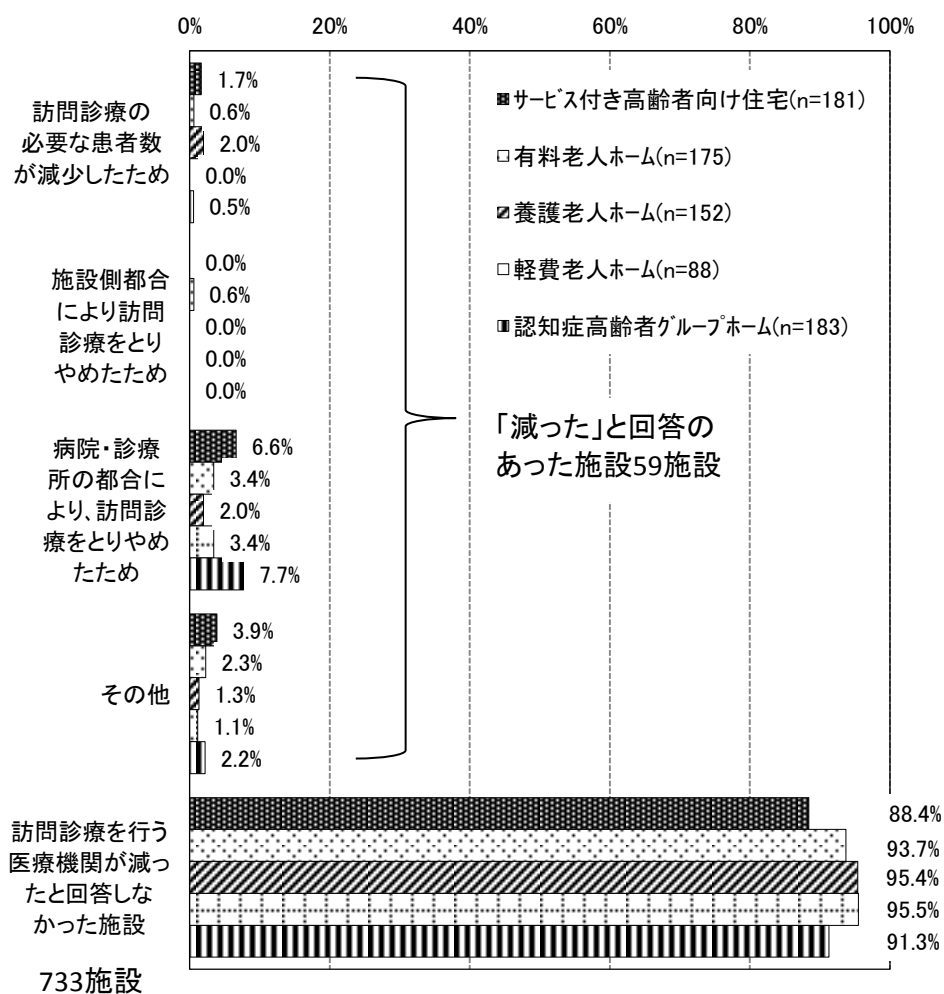
P252 図表 272 訪問診療・往診を行っている病院・診療所数

(単位：か所)

	平成26年3月				平成26年6月			
	施設数 (件)	平均値	標準 偏差	中央値	施設数 (件)	平均値	標準 偏差	中央値
サービス付き高齢者向け住宅	154	1.4	1.2	1.0	175	1.7	1.4	1.0
有料老人ホーム	150	1.6	1.2	1.0	168	1.8	1.3	1.5
養護老人ホーム	118	1.3	1.0	1.0	139	1.5	1.1	1.0
軽費老人ホーム	68	0.8	1.0	1.0	78	0.8	1.0	1.0
認知症高齢者グループホーム	146	1.2	1.1	1.0	167	1.3	1.0	1.0

- 平成26年4月以降、同3月以前と比較して、訪問診療・往診を行っている病院・診療所が減ったかどうかについてみると、792施設のうち「減っていない」と回答した施設が約9割を占めた。「減った」と回答のあった59施設では、「病院・診療所の都合により、訪問診療をとりやめたため」が最も多く、「サービス付き高齢者向け住宅」では6.6%、「有料老人ホーム」では3.4%、「養護老人ホーム」では2.0%、「軽費老人ホーム」では3.4%、「認知症高齢者グループホーム」では7.7%であった。

P255 図表 278 訪問診療・往診を行っている病院・診療所が減った理由（複数回答、n=792）



(注)・「その他」の内容として、「訪問診療を必要とする利用者が不在となったため」(同旨含め7件)、「利用者の状態が改善したため」(同旨含め2件)、「平成26年4月開設」等が挙げられた。
 ・「病院・診療所の都合」の具体的な内容として、「診療報酬改定の影響により訪問診療の中止」(同旨含め9件)、「閉院」、「医師不足」等が挙げられた。

- 訪問診療・往診を行っている病院・診療所が「減った」と回答した 59 施設のうち、「病院・診療所の都合により訪問診療をとりやめた」と回答した 38 施設における現在の状況は、「外来へ通院することで継続的な診療を行っている」が 25 施設で最も多く、次いで「他の訪問医療機関が継続的に診療を行っている」が 14 施設であった。施設種類別にみても「外来へ通院することで継続的な診療を行っている」が最も多かった。

「引受先が見つからないため、都道府県等に相談したが目処が立っていない」と回答した 1 施設以外は、必要な医療を確保できる引受先の目処がついている結果となった。

P256 図表 279 訪問診療・往診を行っている病院・診療所が減った後、現在の状況
 (「病院・診療所の都合により訪問診療をとりやめた」と回答した施設、複数回答)

(単位：施設)

	他の訪問医療機関が継続的に診療を行っている	外来へ通院することで継続的な診療を行っている	訪問診療を実施する病院を探しており、一定程度の目処は立っている	引受先が見つからないため、都道府県等に相談することを考えている	引受先が見つからないため、都道府県等に相談したが目処が立っていない	その他	無回答
全体 (n=38)	14	25	3	1	1	2	2
サービス付き高齢者向け住宅 (n=12)	6	7	3	1	0	0	1
有料老人ホーム (n=6)	1	2	0	0	1	2	0
養護老人ホーム (n=3)	1	3	0	0	0	0	0
軽費老人ホーム (n=3)	1	3	0	0	0	0	0
認知症高齢者グループホーム (n=14)	5	10	0	0	0	0	1

- 訪問診療・往診を行っている病院・診療所の延べ訪問回数についてみると、「有料老人ホーム」が平成26年3月に平均13.8回、同年6月に平均16.4回で最も多く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅」が平成26年3月に平均8.6回、同年6月に平均10.4回、「認知症高齢者グループホーム」が平成26年3月に平均5.5回、同年6月に平均6.6回であった。

P257 図表 281 訪問診療・往診を行っている病院・診療所の延べ訪問回数

(単位：回)

	平成26年3月				平成26年6月			
	(n)	平均値	標準偏差	中央値	(n)	平均値	標準偏差	中央値
サービス付き高齢者向け住宅	134	8.6	16.2	3.0	143	10.4	15.8	4.0
有料老人ホーム	137	13.8	31.5	4.0	137	16.4	32.6	4.0
養護老人ホーム	125	4.6	5.9	4.0	128	4.6	6.0	4.0
軽費老人ホーム	69	1.9	3.3	1.0	74	1.7	3.3	0.0
認知症高齢者グループホーム	149	5.5	10.4	2.0	151	6.6	11.0	2.0

- 訪問診療・往診を利用した入居者数についてみると、全体では平成26年3月が平均19.3人、同年6月が平均19.5人であった。このうち、「養護老人ホーム」が平成26年3月に平均35.3人、同年6月に平均35.3人で最も多く、次いで「有料老人ホーム」が平成26年3月に平均28.1人、同年6月に平均28.7人であった。

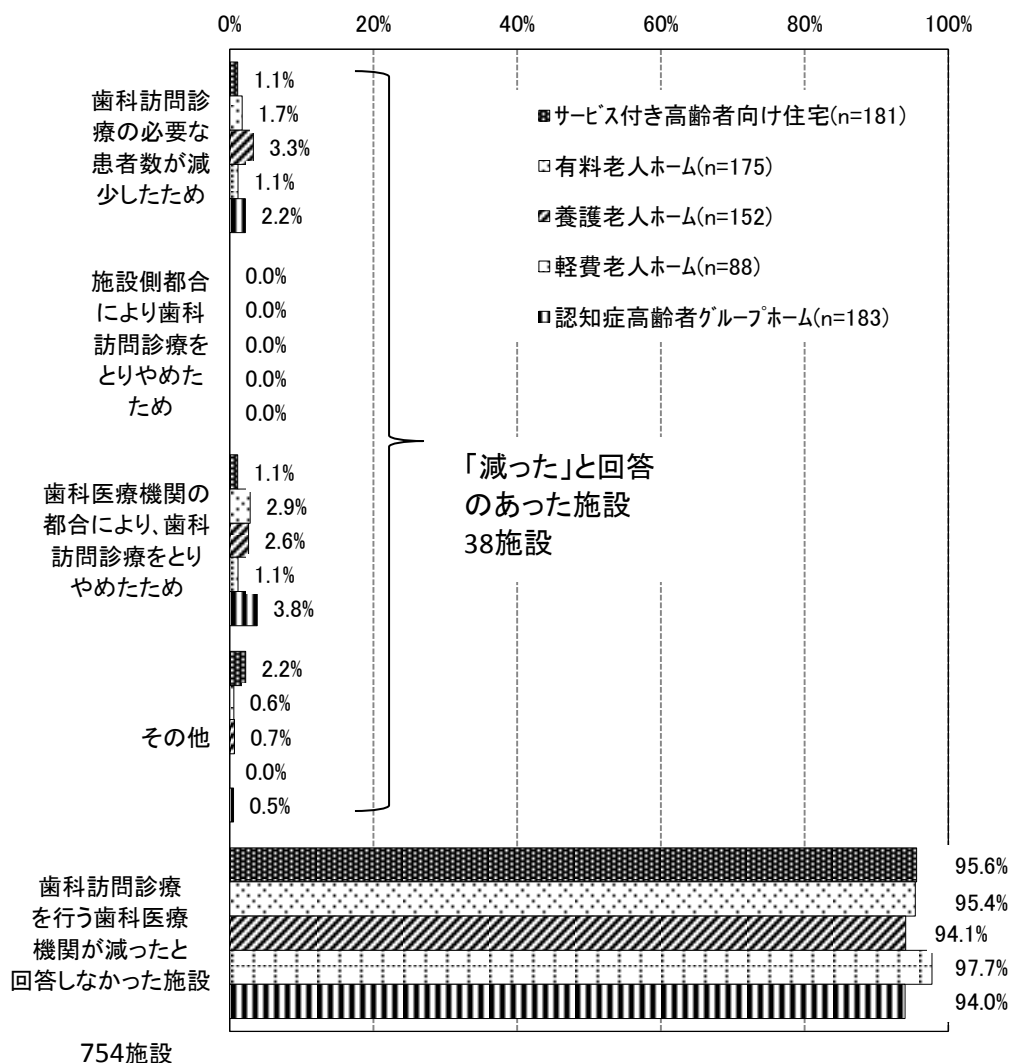
P258 図表 282 訪問診療・往診を利用した入居者数

(単位：人)

	平成26年3月				平成26年6月			
	(n)	平均値	標準偏差	中央値	(n)	平均値	標準偏差	中央値
全体	628	19.3	29.2	9.0	648	19.5	30.6	9.0
サービス付き高齢者向け住宅	142	11.2	14.3	8.0	150	12.2	14.6	9.0
有料老人ホーム	139	28.1	37.6	18.0	138	28.7	41.0	17.5
養護老人ホーム	117	35.3	38.6	29.0	125	35.3	39.8	31.0
軽費老人ホーム	68	10.0	18.4	1.0	73	8.3	17.0	0.0
認知症高齢者グループホーム	151	11.8	18.1	9.0	152	11.7	19.4	9.0

○ 平成26年4月以降、3月以前と比較して、歯科訪問診療を行っている歯科医療機関が減ったかどうかについてみると、792施設のうち「減っていない」と回答した施設が95%程度を占めた。「減った」と回答のあった38施設についてみると、「歯科医療機関の都合により、歯科訪問診療をとりやめたため」が認知症高齢者グループホームで3.8%、「歯科訪問診療の必要な患者数が減少したため」が養護老人ホームで3.3%であった。

P266 図表 292 歯科訪問診療を行っている歯科医療機関が減った理由（複数回答、n=792）



- 歯科訪問診療を行っている歯科医療機関が「減った」と回答した 38 施設のうち、「歯科医療機関の都合により訪問診療をとりやめた」と回答した 19 施設における現在の状況は、「他の訪問歯科医療機関が継続的に診療を行っている」が 10 施設で最も多く、次いで「外来へ通院することで継続的な診療を行っている」が 8 施設であった。「他の訪問歯科医療機関が継続的に診療を行っている」は、認知症高齢者グループホームで総数 7 施設のうち 3 施設、有料老人ホームで総数 5 施設のうち 3 施設であった。

「引受先が見つからないため、都道府県等に相談したが目処が立っていない」と回答した施設はなく、全ての施設で必要な医療を確保できる引受先の目処がついている結果となった。

P267 図表 293 歯科訪問診療を行っている歯科医療機関が減った後、現在の状況
 (「歯科医療機関の都合により歯科訪問診療をとりやめた」と回答した施設、複数回答)

(単位：施設)

	総数	他の訪問歯科医療機関が継続的に診療を行っている	外来へ通院することで継続的な診療を行っている	歯科訪問診療を実施する歯科医療機関を探しており、一定程度の目処は立っている	引受先が見つからないため、都道府県等に相談することを考えている	引受先が見つからないため、都道府県等に相談したが目処が立っていない	その他	無回答
全体	19	10	8	1	0	0	1	0
サービス付き高齢者向け住宅	2	2	0	0	0	0	0	0
有料老人ホーム	5	3	2	0	0	0	0	0
養護老人ホーム	4	2	3	0	0	0	0	0
軽費老人ホーム	1	0	1	0	0	0	0	0
認知症高齢者グループホーム	7	3	2	1	0	0	1	0

(注)「その他」の内容として、「定期的には中止し緊急時のみ外来通院している」が挙げられた。

【まとめ】

＜医科医療機関＞

- (ア) 訪問診療を行っている居宅・施設数及び患者数は概ね同等またはやや増加しており、在宅医療の提供状況に大きな変化はみられなかった。
- (イ) 患者 1 人あたりの診療時間は、同一建物では中央値が約 7.5 分であるのに対し、非同一建物では約 19 分であり、同一建物の患者では診療に要する時間が短い傾向がみられた。
- (ウ) 患者に提供している医療内容について、同一建物では約 55%の患者が調査項目に規定された項目のうち「健康相談」「血圧・脈拍の測定」「服薬援助・管理」にのみ該当していたのに対し、非同一建物では同項目が約 40%であり、提供している医療内容に違いがみられた。
- (エ) 平成 26 年改定において、保険医療機関等が事業者等に対して、金品を提供し、患者を誘引することを禁止する旨を療養担当規則に明記したことについて、患者紹介の契約の有無について「ある」と回答した診療所は、改定前後で 1.3%から 0.2%に減少していた（病院では、改定前後ともに「ある」と回答した医療機関はみられなかった）。しかしながら、当設問に対し無回答だった医療機関の比率が改正前後で診療所 7.3%→10.1%、病院 7.5%→9.9%と増加していることについて、本調査の回答状況を分析した限りでは、無回答とした原因は特定出来なかったが、当該医療機関が同一建物における複数訪問を行っている割合は調査全体のデータより低い傾向がみられた。

＜訪問看護ステーション＞

- (オ) 訪問看護の利用者数（医療保険と介護保険の合計）について、平成 26 年改定前後で比較すると、訪問看護ステーションでは平均 74.4 人→平均 78.4 人、保険医療機関では平均 47.5 人→平均 49.4 人とやや増加がみられた。延べ訪問回数（医療保険と介護保険の合計）についてみると、訪問看護ステーションでは平均 488.7 回→平均 544.4 回、保険医療機関では平均 201.3 回→平均 225.5 回と大きく増加している傾向がみられた。
- (カ) 1 人あたりの訪問時間について、訪問看護ステーションでは同一建物で平均 50.6 分、非同一建物で平均 60.3 分であった。同じく保険医療機関では同一建物で平均 35.7 分、非同一建物で平均 45.4 分であり、いずれも同一建物の方が訪問時間が短い傾向がみられた。

＜歯科医療機関＞

- (キ) 歯科訪問診療の患者総数（延べ人数）について、26 年改定前後で平均 43.5 人（標準偏差 122.5）→平均 47.6 人（標準偏差 136.0）とやや増加がみられた。このうち、同一建物で 1 人の患者に診療した数は平均 10.8 人（標準偏差 32.5）→平均 12.5 人（標準偏差 37.5）であり、一方、同一建物で複数の患者に診療した数は平均 32.7 人（標準偏差 104.3）→平均 35.1 人（標準偏差 115.9）といずれも増加がみられた。ただし、患者総数、同一建物での患者数ともに、標準偏差が大きいことから、医療機関によって患者数に差があると考えられる。
- (ク) 1 月あたりの歯科訪問診療を行った日数について、26 年改定前後で平均 8.7 日→平均 9.3 日とやや増加がみられた。
- (ケ) 「歯科訪問診療料 1」の算定回数について、26 年改定前後では平均 12.3 回→平均 14.1

回であり、増加がみられた。

- (コ) 歯科訪問診療時の1施設1日あたりの患者数についてみると、「介護保険施設」が平均6.03人で最も多く、次いで「歯科標榜なし病院」が平均5.25人、「有料老人ホーム、グループホーム系の居宅系高齢者施設」が平均4.92人、「サービス付き高齢者向け住宅」が平均3.68人であった。
- (サ) 患者紹介の契約の有無についてみると、平成26年3月以前は「ある」が2.9%であったのが平成26年4月以降は0.4%と減少していた。しかしながら、当設問に対し無回答だった医療機関の比率が改正前後で6.0%→12.0%と増加していることについて、本調査の回答状況を分析した限りでは、無回答とした原因は特定出来なかったが、当該医療機関が同一建物における複数訪問を行っている割合は調査全体のデータとほぼ同等の割合であった。

<保険薬局>

- (シ) 平成26年改定において、同一建物居住者とそれ以外で見直しを行った在宅で薬学的管理及び指導を行った総患者数（医療保険+介護保険）について、26年改定前後では平均31.4人→平均31.7人とほぼ変化はみられなかった。
- (ス) 患者1人あたりの在宅で服薬指導等を行う平均ベッドサイド業務の時間について、26年改定前後では同一建物では平均16.7分→平均17.2分、同一建物以外で平均20.7分→平均20.8分であり、ほぼ変化はみられなかった。

<集合住宅>

- (セ) 訪問診療・往診を行っている病院・診療所数について、26年改定前後では「有料老人ホーム」が平均1.6か所→平均1.8か所、「サービス付き高齢者向け住宅」が平均1.4か所→平均1.7か所、「養護老人ホーム」が平均1.3か所→平均1.5か所で全体としてやや増加傾向がみられ、集合住宅における訪問診療・往診が進んできていることがわかる。
- (ソ) 平成26年4月以降、同3月以前と比較して、訪問診療等を行っている病院・診療所が「減った」と回答したのは792施設のうち59施設で、全体の約10%以下であった。このうち、減った理由として「病院・診療所の都合により訪問診療をとりやめた」と回答したのは38施設であった。さらに、その38施設のその後の状況は、「外来へ通院することで継続的な診療を行っている」「他の訪問医療機関が継続的に診療を行っている」などの回答が多く、「引受先の目処が立っていない」と回答した1施設以外は、必要な医療を確保できる引受先の目処がついている結果となった。
- (タ) 同様に、歯科訪問診療を行っている歯科医療機関が「減った」と回答したのは792施設のうち38施設で、減った理由として「病院・診療所の都合により訪問診療をとりやめた」と回答したのは19施設であった。さらに、その19施設のその後の状況は、「他の訪問歯科医療機関が継続的に診療を行っている」「外来へ通院することで継続的な診療を行っている」などの回答が多く、「引受先が見つからないため、都道府県等に相談したが目処が立っていない」と回答した施設はなく、全ての施設で必要な医療を確保できる引受先の目処がついている結果となった。